

モデル指導案

対象 > 小学校高学年～中学校3年生
時間 > 45分～50分、1コマ
活用場面 > 道徳、特別活動、総合的な学習の時間

ねらい

- 自分が悩みを抱えているときには、一人で抱え込まず早めに報告・連絡・相談をすることで現状を改善できることを理解し、報告・連絡・相談をする行動がとれるようになる。
- 自分の周りの人が悩んでいるのを見つけたときに、必要に応じて適切な相談先に報告・連絡・相談をする行動がとれるようになる。

時配	●学習活動 発問	○指導上の留意点、★使用教材
13分	<p>1. 悩みを相談するか否かについて考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ●動画1（約7分、「相談を送信する」か「相談を送信しない」かの選択まで）を視聴する。 ●動画の内容を振り返り、発問をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・主人公の名前 ・網川君は何に悩んでいたのか ・学校で配られていたカードは何か、等 	<ul style="list-style-type: none"> ○導入に時間をかけず、すぐに動画を流す。 ★映像教材と映像再生機器（PC、DVDプレーヤー、大型テレビ、プロジェクター、スピーカー等） ○網川君の気持ちは中学生として何となくわかるのか、わからなくてもどのような心情なのか生徒が寄り添って考えられるようにドラマの内容を振り返る。 ○発問後、個人の考えをワークシートに記入させる。 ★ワークシート  ○数名に意見を口頭で発表させ（ランダム指名を推奨）、選んだ選択肢ごとに要点を板書する。 ★抽選アプリ（ランダム指名）  ○どちらの選択肢をとるか挙手させ、それぞれの選択肢の割合を把握させる。（人数は板書しておく。） ★抽選アプリ（選択肢抽選）  ○近くの席の者どうし（グループ）、意見交換をする。 ○先ほどの意見以外で出た意見を生徒に発表させる。 ○児童生徒のつぶやきを適宜拾いつつ、対話的に進行する。
15分	<p>網川君は途中まで文章を書いて止まっていたので、自分が網川君の立場だとしたらどちらを選びますか。</p> <p>予想される回答</p> <p>相談を送信する からかわれることにこれ以上耐えられないから、アプリなら気軽だから、誰かに相談したそうだったから、等。</p> <p>相談を送信しない 誰が相談相手なのかわからないから怖い、悩みを知られるのが恥ずかしい、どうせ送っても解決しない、ホウレンソウを信じていないから送信しない、一回文章で書いたことで満足するかもしれないから、等。</p> <p>*ここでは網川君に送信したい気持ちと送信したくない気持ちのどちらも存在しているのではないかと、いうことを子どもたちの意見から引き出し、網川君の矛盾する気持ちを理解させたい。</p>	

時配	●学習活動 発問	○指導上の留意点、★使用教材
	<ul style="list-style-type: none"> ●動画2（約1分）を視聴する。 ●抽選の方法について確認し、抽選アプリで抽選を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの選択肢を選んだ人数の割合がクラスの雰囲気を表していること、確率によって次の展開が決まることを理解させる。
8分	<p>2. 選択の結果を振り返り、考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ●抽選の結果に従い、動画3（選択肢1）もしくは動画4（選択肢2）を視聴する（動画は各約1分）。視聴後は児童生徒の様子を見て、何か言いたそうな者がいれば発言してもらう。 ●もう一方の選択肢も見たいか確認し、意思を確認した上でもう一方の選択肢も視聴する。 ●動画5（解説）を視聴する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○先ほどの意見を振り返り、網川君の気持ちの揺れについて確認をする。 ○自分が悩みを抱えたときや周囲がそのような状況のときには早めに報告・連絡・相談することが重要であることを理解させる。問題が小さいうちにホウレンソウをすることで解決が早く、問題が大きくなってからのホウレンソウでは解決が遅くなる。そのため早めのホウレンソウを心がけてほしいことを伝える。 ○個人の考えをワークシートに記入する。 ★ワークシート  ○時間に余裕があれば近くの席の者どうし、書いたことを紹介させる。 ○時間に余裕があれば数名に意見を口頭で発表させる（ランダム指名を推奨）。余裕があれば、要点を板書する。
9分	<p>（少し児童生徒の様子を見てから）ここまでの内容から感じたことや考えたことをワークシートに書いてください。</p> <p>予想される回答</p> <p>こんなにうまくいかないと思う、アプリを使うより直接相談の方が早そう、相談できるアプリを知らない、早めに誰かに相談した方がいいと思った、等。</p>	
5分	<p>3. 報告や相談の方法を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分や他人の悩みについての報告・連絡・相談先として、保護者や先生や報告窓口など、行動するための方法を伝える。 ●(STOPit導入校の場合)匿名報告・相談アプリ「STOPit」の概要と使用方法の説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各都道府県や市町村が設けている相談窓口を紹介する他、直接教員に伝えるなど、子どもたちが工夫していじめを止める行動がとれるための方法を伝える。 ★STOPit説明書及びSTOPit利用方法動画 

 ワークシート、抽選アプリ、STOPit説明書、STOPit利用方法動画のダウンロードは、P38を参照

★ 抽選アプリ(選択肢抽選/ランダム指名)の使用法はP37を参照